

役員立候補者等公示

公示番号－ 8

立候補役職名	会員理事			
(ふりがな)	わたなべ よういちろう	性別	生年月日	年齢
氏名	渡辺 洋一郎	男	1975年8月13日	47 歳
勤務先名	芽室町議会			
会員番号	37735	市町村	芽室町	十勝 地区支部
主な活動歴	2003～2009年 社会福祉法人札幌山の手リハビリセンター（2005年社会福祉士取得） 2010～2014年 医療法人道北勤労者医療協会（地域包括支援センター：社会福祉士2年、精神保健福祉士2年） 2015年～芽室町議会議員（現在2期目） 2019年～十勝地区支部幹事 2021年副支部長～ 2019年～北海道社会福祉士会理事（生活困難者支援委員会委員長、企画総務委員会担当理事、ぱあとなあ北海道業務監査委員会委員長）			
立候補理由・抱負	2019年から2期、会員理事として活動に取り組んで参りましたが、さらなる会の発展に尽力させていただきたく立候補いたしました。 人口減少や超高齢社会の進展に加え、コロナ禍や物価高騰等による社会環境の変化によって、社会福祉士や本会に寄せられる期待はこれまで以上に高まるものと考えます。 この4年間、生活困窮者支援委員会において、困窮者支援や重層的支援、人権問題、ハンセン病問題、自殺対策等、どこの委員会にも属さない分野横断的な課題について取り組んできましたが、現在の社会情勢においてはますます重要な役割を果たす取組みであると考えております。 これまでの実践と経験を生かし、会員同士がさらに交流を深める機会をつくるとともに、北海道社会福祉士の活動がこれまで以上に活発となり、道民のみなさまに広く認知していただけるよう尽力していきたいと考えております。			
推薦者 1	川向 優子	会員番号	33724	十勝 地区支部
推薦理由	社会福祉士の原点である、「すべての人が人間としての尊厳を有し、価値ある存在であり、平等である」という視点に立ち 住民が主人公であるまちづくり・国づくりをめざしているのが芽室町議会議員の渡辺会員です。どこにでも足を運び（現場主義）、人と触れ合い、人々の話を聴き、誰もが希望をもって暮らすことのできる社会の実現に向けて、日々、誠実でありながらもアクティブに活動している様子は、自身のSNSなどで発信されている通りです。 また、十勝地区支部の副支部長として権利擁護委員会を担当していることに加え、道の理事としてのこれまでの取り組みや経験は、今後の北海道社会福祉士の更なる発展には必要不可欠であり、明るい日本の未来に向けて全力を尽くしていただけるものだと確信しています。よって会員からの応援とさまざまな人々の声とともに渡辺会員を推薦します。			
推薦者 2	中山 晶子	会員番号	54026	十勝 地区支部
推薦理由	現在、北海道社会福祉士会の理事を2期務めており、生活困窮者支援委員会を担当しています。十勝地区支部でも副支部長として活動し、芽室町議員・道理事・支部副支部長と、多くの役職で活動し、大変忙しい中、継続して立候補してくださいました。道理事の活動も4年間されているため、スムーズに今後も役割を果たしていただけると期待しています。 生活困難者支援委員会での活動では、研修企画だけにとどまらず、あらゆる人々の人権と尊厳を擁護する社会福祉士として自らも学びを深めるとともに、自身の地域においてどのような取り組みができるかを考え、障がい者や地域住民の生活について、社会福祉士の視点から芽室町議員としてどのように活動していくか、いろいろな角度から考え行動されています。 広い視野で様々なことを吸収される渡辺洋一郎さんに、十勝地区支部としても心強く、支部の向上にも繋がると思い、ここに推薦いたします。			
推薦者 3	寺本 圭佑	会員番号	32775	十勝 地区支部
推薦理由	渡辺会員は、北海道社会福祉士会の理事として生活困窮者支援委員会の活動において、自殺対策、コロナ禍における経済格差問題、人権問題など様々な課題に対して、社会福祉士・町議会議員・生活者としてそれぞれの立場から何をすべきか、当事者の声に耳を傾けながら会員と共に活動してきました。渡辺会員とのつながりの中で特に印象に残っているのは、ハンセン病のつどいの時に、コロナ禍だからこそ感染症差別のない社会実現に向けて差別解消のために、学ぶだけでなく具体的なアクションを起こさなければならないと発信していたことで、渡辺会員が日頃からすべての人がシームレスにつながり、共に必要として支えあいながら生活する地域づくりを目指していることをより深く理解できました。最後になりますが、生活者の視点を大切に思いやりのある活動を続けている渡辺会員の力が北海道社会福祉士会の一層の発展のために必要不可欠だと考え理事に推薦します。			